

## チャレンジで楽しさを掴もう

トヨタ自動車株式会社 モノづくり開発センター  
素形材技術部 主幹

**小林 岳人氏（高校51期）**

1999年 立川高校卒業  
2004年 慶應義塾大学理工学部卒業  
2006年 慶應義塾大学理工学研究科修了・トヨタ自動車株式会社入社



### ■私の高校時代



立川高校バドミントン部

高校時代で特に思い出深いのは、バドミントン部での練習です。毎日、2限と3限の後の休み時間に急いで弁当を食べて、昼休みも練習。当時強豪校だったので練習はとても厳しかったのですが、部活の仲間と一緒に過ごす時間が何より楽しかったのを覚えています。部活に夢中になりすぎて受験勉強は全然進まず、現役での大学受験は全滅。今では笑い話ですが、当時はかなり落ち込みました。

### ■高校卒業後～現在

一浪して慶應義塾大学理工学部に進学しました。飛行機や自動車に興味があったのでこの進路を選び、在学中は自動車への興味がさらに深まりました。「ハイブリッドカーのプリウスやF1参戦で、先進的なイメージのあったトヨタ自動車を選んだ」というのは表向きの理由で、本当は自動車メーカーではトヨタ自動車にしか受かりませんでした…。

入社後は生産技術部門に配属され、様々な車種のエンジンやサスペンションの生産ライン開発に携わりました。一番印象に残っているのは、2022年に発売されたクラウンという車種の生産ラインです。このプロジェクトでは、アルミニウムを使った鍛造という工法の中で、世界で最もCO2排出量の少ない生産ラインを開発することに成功。2023年の素形材産業技術表彰で最優秀賞である経済産業大臣賞をいただきました。無事にクラウンの生産を開始できた時に、開発で苦楽を共にした仲間達と、笑顔と涙で喜び合ったことは、受賞以上に大切な思い出になりました。現在も、日々大きく変化する自動車業界の中で、気が休まる暇もなく開発に取り組んでいます。EVや自動運転の導入など課題は山積みですが、厳しい現実に向き合いつつ、楽しさを見つけながら仕事ができていることは幸せだと感じています。



素形材産業技術表彰の表彰式



クラウン

### ■在校生へのメッセージ

月並みですが、いろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。やりたいことが見つかるまでチャレンジし続けるのもいいですし、チャレンジしてみたことがやりたいことにも変わることも多いです。楽しさは、いつもあなたの側に転がっています。自ら動いてそれを掴み取りにいきましょう！私も頑張ります！